

平成20年度 事業計画

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)



社団法人日本グラススキー協会

< JGSA 事務局 >

〒270-0014 千葉県松戸市小金 335 E-309

TEL047-309-7001 FAX047-309-7002

www.grass-ski.or.jp info@grass-ski.or.jp

社団法人 日本グラススキー協会定款 [第3条 目的及び事業]

「この協会はグラススキーの普及、技術の向上を通じて国民の体力の向上、余暇生活の充実をめざし、青少年から熟年に至る幅広い層の人たちの健全な精神と健康を享有するに資することを目的とする」

「平成20年度事業運営について」

組織育成・連携・協力の促進

競技会・講習会・検定会の開催について

国際大会・国際機関との連携・協力

広報・資産活用その他

組織育成・連携・協力の促進

1. 所管官庁・諸団体（登録クラブ）との関係について

所管官庁（文部科学省）実地調査への対応（資料2）改善を行うとともに、関係諸団体との関係をより密接に維持する。

登録クラブを中心とした支部の設立（ブロック・都道府県）を進める

2. グラススキー場との関係について

従来の公認スキー場のほか協力（登録）スキー場等の設置によりスキー場との関係強化を図る

公認スキー場＝公認大会の開催（公認料年間10万円納入スキー場）

協力スキー場＝体験会・講習会等の行事開催他（申告制）

その他登録スキー場（申告制）

公認・協力・登録スキー場に対してはJGSA HP・主催行事での紹介協会行事開催・講習会用スキーの貸出しを行う

3. 公認メーカーについて

メーカーからの申請を基本とて認定し、JGSA 担当者・公認メーカー代表によるマテリアル委員会を設置しマテリアルについての検討を行う

* マテリアル委員会による共有パーツ（プロテクター）等の開発検討

* 公認メーカーから申請書提出（公認料＝10万円）

（第三者賠償保険加入・製造・販売責任者・FIS レギュレーション対応）

公認メーカーに対してはJGSA から一般ユーザーに対してのマテリアル紹介

4. 新規協賛企業・賛助会員の獲得

「スポンサーシップ・プログラム」による新規協賛企業・賛助会員の獲得を目指す

* JGSA オフィシャルスポンサー・賛助会員

* JGSA サポーターの募集（年会費 1口5万円）

競技会・講習会・検定会の開催について

普及担当理事・競技強化事理を中心とした作業部会活動の継続

(普及 = 講習会・検定会ほかについて 競技強化 = 競技会運営・選手強化・開催種目ほか)

1. A級大会の開催について

第24回全日本グラススキー選手権 (FIS 公認申請)

会場 徳島県 中尾山高原スキー場

日程 10月17日(金)開会式 スーパー大回転 表彰式

10月18日(土)回転 表彰式

第15回高円宮杯グラススキージャパンオープン (FIS 公認申請)

協会総裁高円宮妃殿下御臨席

会場 徳島県 中尾山高原スキー場

日程 10月18日(土)開会式

10月19日(日)スーパーコンビ 表彰式

2. JGSA 公認大会の開催・助成について (申請クラブにて運営主管)

初心者からトッププレーヤー・生涯レーサーの育成、技術向上を目指して開催。

申請のあった大会について開催概要・運営体制にて公認・非公認を判断し、

公認大会には JGSA より TD を派遣する

* 開催申請期間 平成 19 年 4 月 ~ 6 月末 (運営概要・各地区・日程調整)

助成に付いては 1 大会 (主管団体) につき 5 万円を上限とする

3. 第4回都留市ジャパンジュニアグラススキー大会について

(スポーツ拠点づくり推進事業実施)

会場 山梨県都留市 都留グラススキー場 対象 小・中・高生 (3 区分)

日程 8月22日(金)~24日(日)

実施内容 トレーニングキャンプ 大回転、回転

* 全国 8 ブロック (北海道・東北・関東・中部・関西・四国・中国・九州) より選

手選抜 (選考会・クラブ推薦) し、ジュニア層の拡大、充実をはかりジュニア選手
の目標となる大会として開催

* 文部科学大臣賞ほかの申請

* 2009 年開催チルドレンキャンプへの派遣選考会とする

4. テクニカル選手権について

* 第 23 回全日本テクニカル選手権 日程 平成 20 年 9 月 21 日 (日)

会場候補 群馬県 赤城芝スポーツ (検定会 9 月 21 日 (土))

上位者 (有資格者) を JGSA デモンストレーターに認定し翌年度の研修会へ派遣

* J G S A トレーニングキャンプの開催 9 月 21 日 (土) 参加費 2,000 円 定員 30 名

5. 研修会・検定会に実施について（インストラクター・アシスタント研修会・検定会）
JGSA主催インストラクター検定・研修会
6月～10月各地区にて開催
加盟クラブによる検定会開催
（インストラクター検定・アシスタントインストラクター検定・ジュニア検定）
開催申請 開催予定2ヶ月前までに所定の書式にて申請
受験料・公認料は主管クラブにて徴収し公認料（会員会費含む）をJGSAへ納入
各検定の検定料・認定料
検定概要にて実施（検定種目DVD製作、クラブへの配布）

6. グラススキー体験会について（各クラブよりの公認インストラクターの派遣）
公認インストラクターを講師に、グラススキー場以外でのグラススキー体験会及び
公認・登録・協力スキー場での体験会開催でグラススキーの更なる普及を目指す
* グラススキー場以外 埼玉県滑川市 武蔵丘陵森林公園（主催者負担有）
5/17（土）5/18（日）5/31（土）6/1（日）10/11（土）10/12（日）10/25（土）10/26（日）
* 宮崎県都城市高城観音池公園内グラススキー場
4/27（日）5/11（日）5/25（日）6/8日、6/22（日）
* 公認・登録・協力スキー場にてその他行事（研修会・公認大会等）と同時開催

国際大会・国際機関との連携・協力

1. 国際大会の開催（FIS公認レース）
七ヶ宿グラススキー大会2008（9月6日（土）回転7日（日）大回転）
宮城県 七ヶ宿スキー場
2. 国際大会への代表選手派遣について
ジュニア世界選手権（7月30日～8月3日 [スイス Rieden](#)）
FISポイント（Jrランク）にて男子新谷大地（中尾山高原GSC）女子斉藤久美（天元台R）両選手を代表とし、選手2名、監督1名の計3名を派遣。
FISチルドレンキャンプ（8月4日（月）～9日（土）スロバキアPiestany
第3回都留市ジャパンジュニアグラススキー大会にて選手選考した2名の選手と監督1名を派遣。男子 志村 直樹（サンパーク都GSC）女子 中澤 歩里（天元台 JrR）
3. 国際会議への派遣
FISグラススキー会議への代表者出席
2011年世界選手権日本開催に向けた調整を行う

広報・資産活用・その他

1. 広報活動について
既存会員への情報提供はHPを中心に行う。その他スキー専門誌・関連HP他協会以外の媒体を有効に活用し、グラススキーの会員増加に努める

2. 所有資産の活用

競技会 公認大会への計測器他備品の貸し出し 講習会等へのスキーの貸し出し

3 その他

1) 主催事業受益者負担他平成20年度事業について

協会主催研修会・体験会・トレーニング会の参加費は500円とする

(リフト代 レンタル費用別途)

海外派遣代表選手の個人負担 代表選手の昼食費、栄養費は自己負担とする

A級大会の大会運営費協会負担は競技運営費を基本とする

協賛企業、賛助会員・サポーターの募集

JGSAサポーターを新設し年会費 1口5万円とする

検定会、競技会参加料の収入増を目指す

2) 2011年FIS世界選手権開催について

2011年世界選手権日本開催に向け関係各所との調整を開始する

3) 文部科学省からの指導について(平成19年7月5日実地検査実施)

(1) 法人業務の運営状況(C評価)

協会にて常勤者を置くこと 事務局にて対応する

事務局運営規程、規則を施行する。

(2) 事業の内容および実施状況(A評価)

基本事業を継続する

(3) 会計処理、収支及び資産の状況(C評価)

短期借入金(1,300万円)の早期返済に向け努力する

(4) 予算及び決算の状況(B評価)

予算(収入)と決算(収入)の差異について詳細再検討にて対応する

4) 新規公益法人法対応について

平成20年12月施行 定款変更等予定にて申請可能

(新定款案の作成、事業内容の検討)

公益社団法人申請に向け定款変更(案)他作業を進行する